

愛・地球セッション（愛・地球メッセージイベント）8月

『持続可能な社会の創造～調和・共存』

「～ブリッジ・エターナル～ ネオバルカン」コンサート開催

（財）2005年日本国際博覧会協会は、協会企画催事“愛・地球メッセージイベント”の一環として、**8月28日（日）にEXPOドームにて「愛・地球セッション／～ブリッジ・エターナル～ネオバルカン コンサート」**を開催いたします。

心と身体で体感する「愛・地球セッション」の8月は『持続可能な社会の創造～調和・共存』をテーマに、～ブリッジ・エターナル（共和・永遠の橋）～ネオバルカン コンサートを開催します。

宗教・文化の相違を超えて、バルカン諸国の代表的ミュージシャンが愛・地球セッションに集まっています。古くから東西の文化・芸術・音楽の「架け橋」として、さまざまな文化の交流地点であったバルカン地方。現在、破壊から立ち直り、新たな社会づくりをめざす上で、20世紀型ではない、自然と人類の共存をめざした独自の社会を構築しようという社会的ムーブメントが起こっています。この地域で活躍する多くの有名アーティストが、各々の表現を通してこのムーブメントの牽引役となっています。愛・地球博でのオリジナルセッションでは、ネオバルカンミュージックを通して、バルカン諸国からのメッセージをお届けします。

また、地元、名古屋芸術大学の学生たちとも交流し、各々の感性と才能と音づくりへの情熱を元に、自然の叡智を表現したオリジナルの音づくりにチャレンジ。**本コンサートは名古屋芸術大学の特別出演も**加わり、愛・地球博ならではのハーモニーに触れられる絶好の機会となっています。

記

開催概要

- | | |
|--------|--|
| 〔主 催〕 | 財団法人2005年日本国際博覧会協会 |
| 〔協 賛〕 | 富士通テン株式会社 |
| 〔タイトル〕 | 愛・地球セッション 8月
持続可能な社会の創造～調和・共存
～ブリッジ・エターナル（共和・永遠の橋）～ ネオバルカン コンサート |
| 〔日 時〕 | 2005年8月28日（日） 開場 19:00 開演 19:30 |
| 〔会 場〕 | 愛・地球博 長久手会場 EXPOドーム |
| 〔出 演〕 | バジル・ハジマノフ・バンド、スロボダン・トゥクリア、
オーハ、プトカズィ |
| 〔特別出演〕 | 名古屋芸術大学プラス&ドラムセクション |
| 〔入場方法〕 | 事前予約あり。当日自由席。当日、午後0時よりEXPOドーム前にて整理券を配布、なくなり次第終了いたします。 |

アーティストプロフィール



バジル・ハジマノフ・バンド（セルビア・モンテネグロ/マケドニア）

バークリー音楽院卒業のVasil Hadzimanov（写真右、ピアノ/キーボード）を中心にVasil Hadzimanov Bandは1997年結成された。メンバーの卓越した演奏技術をバックグラウンドに、伝統的バルカンの音楽、フォーク、更にファンクなどの新しい音楽スタイルを融合させ、現代的に消化したその音楽性は、ジャンルの垣根を越え、更に高いレベルへと音楽を導いた。ベルリン、オーストリア、東欧諸国のジャズイベントに参加。現在まで2枚のアルバムを発表。

またドイツ ARTE Television 制作のベオグラードを描いたドキュメンタリー番組に楽曲を提供。また自身の演奏シーンも収録されている。他「011 Belgrade」、「When I Grow Up I Wanna Be Kangaroo」にも楽曲提供。



スロボダン・トゥクリヤ（セルビア・モンテネグロ）

クラリネット、サクソ、フルートから、セルビアの伝統管楽器まで幅広い才能を見せるマルチインストゥルメンタリスト。13才よりユーゴスラビアの有名なアンサンブル、Sonja Marinkovicのメンバーとなり、伝統音楽への道をスタートさせる。1998年に、Slobodan Trkulja and Balkanopolisを立ち上げ、セルビアでモダン・エスノ・ミュージック旋風を巻き起こす。伝統音楽以外にも才能を発揮し、オランダでサクソを学ぶ傍ら、チック・コリア・ニュー・トリオのベーシスト、Avishai Cohenといった世界的に有名なミュージシャン達と多くの共演を果たす。2001年、Eddy Martinez Latin Big Bandのメンバーとして、ベネルクス諸国ツアーに参加。また、ヨーロッパでもっとも名高いビッグバンドであるオランダのthe Jazz Orchestra of the Concertgebouw にゲスト・ソリストとして参加するほか、ポップス、ジャズ、伝統音楽等幅広いジャンルで、40以上のアルバムに参加し、近年では映画のサウンドトラックレコーディングにも携わる。

2002年 ダッチ ジャズ コンペティションでのベスト・ニュー・タレント賞など、受賞も多数。



オーハ（ボスニア・ヘルツェゴビナ）

ボスニアの伝統音楽と、アフリカのジャンベ、コンガなどを融合させた彼のユニークなパフォーマンスは、1995年、ボスニア紛争で精神的なダメージを被ったMostar市の子供たちに音楽を通じて治療していた、音楽セラピストの当時エジンバラ大学の名誉教授であった、Nigel Osborneとのコラボレーションに始まる。その後Mostar市Pavarotti Music Centreで南アフリカ出身のドラマーEugene Skeef氏の指導のもと、若者たちにワークショップを行う。現在では、東南ヨーロッパで最高のパーカッショニストの一人であるOhalは、Horace Andyや、オーケストラグループ、東南ヨーロッパの様々な音楽家たちとの共演、特にBrian Enoとはヨーロッパ、アメリカツアーを果たす。また、多くのアルバムにゲストミュージシャンとしてフィーチャーされている。パーカッショニストとしての演奏活動以外にも、音楽プロデューサーとして、ヨーロッパ各地の音楽施設などでのワークショップ、精神病院でのワークショップ、映画祭や音楽番組の企画制作、ヨーロッパのミュージシャンと協力し、100以上のイベントに参加しているMostar市音楽クラブの運営など、精力的に活動している。



プトカズィ（クロアチア）

大勢の中から、毎年違うメンバーを選びパフォーマンスをするというユニークな手法を取るPutokazi。本年度は写真の7人が選ばれた。伝統的なコーラスをベースとしながらも、ダンスなどを取り入れ、演出にこだわりをみせたりと、現代的なアレンジが見られる。このようなアプローチは、中央ヨーロッパにおいては彼らが先駆者であり、その独創性から数々の賞を獲得してきた。プトカズィ自身では、11のフェスティバルで受賞、アルバムでは2つの受賞、プトカズィ出身のパフォーマー ” PUT ” は1993年、EuroVision Song Contestのクロアチア代表、同じく、 ” E.N.I ” は同コンテスト1997年クロアチア代表、プトカズィのオリジナルプロジェクト ” Zemlja ” は、1997年、Radio France InternationalのEaster Discovery event賞獲得。